



2020年3月10日
沖縄電力株式会社

金武火力発電所における 木質バイオマス供給設備の建設工事開始について

当社は地球温暖化対策の一環として、具志川火力発電所（石炭火力発電所）において木質バイオマス燃料の混焼に取り組んできました。

今後の再生可能エネルギーの活用推進に向けて、木質バイオマス利用拡大について検討を重ねた結果、金武火力発電所においても木質バイオマス供給設備を導入することとし、建設工事に向けた手続きを進めております。

2020年2月10日に供給設備の工事計画届出書を那覇産業保安監督事務所へ提出し、4月より建設工事を開始いたします。

当社が利用する木質バイオマス燃料は、株式会社バイオマス再資源化センター（BRC）において、沖縄県内で有効利用されず焼却処分されていた建設廃材から製造されており、県内における建設廃材のリサイクル推進に貢献しつつ、燃料である石炭の消費量を抑制することで、当社だけでなく、県内のCO₂排出量の削減にも寄与するものです。

2021年3月の運用開始を目指して、地域の皆さまおよび関係各所のご理解・ご協力をいただきながら、環境保全に十分配慮し、安全第一に工事を進めてまいります。

今後とも、沖縄のエネルギーを支える事業者として、安定供給と同時に、環境へ最大限配慮した取組みを続けてまいります。

1. 対象設備および混焼率

対象設備：金武火力発電所1号機、2号機

燃料：石炭

混焼率：木質バイオマス約3%（重量比）

2. 対象木質バイオマス

沖縄県内における建設廃材等を原料とした木質ペレット

3. 木質バイオマス使用量

約3万t／年（金武火力発電所・具志川火力発電所の合計）

4. CO₂削減量等

約4万t-CO₂／年（金武火力発電所・具志川火力発電所の合計）

添付資料：木質バイオマス供給設備概要

以上

添付

木質バイオマス供給設備概要

○設備概要

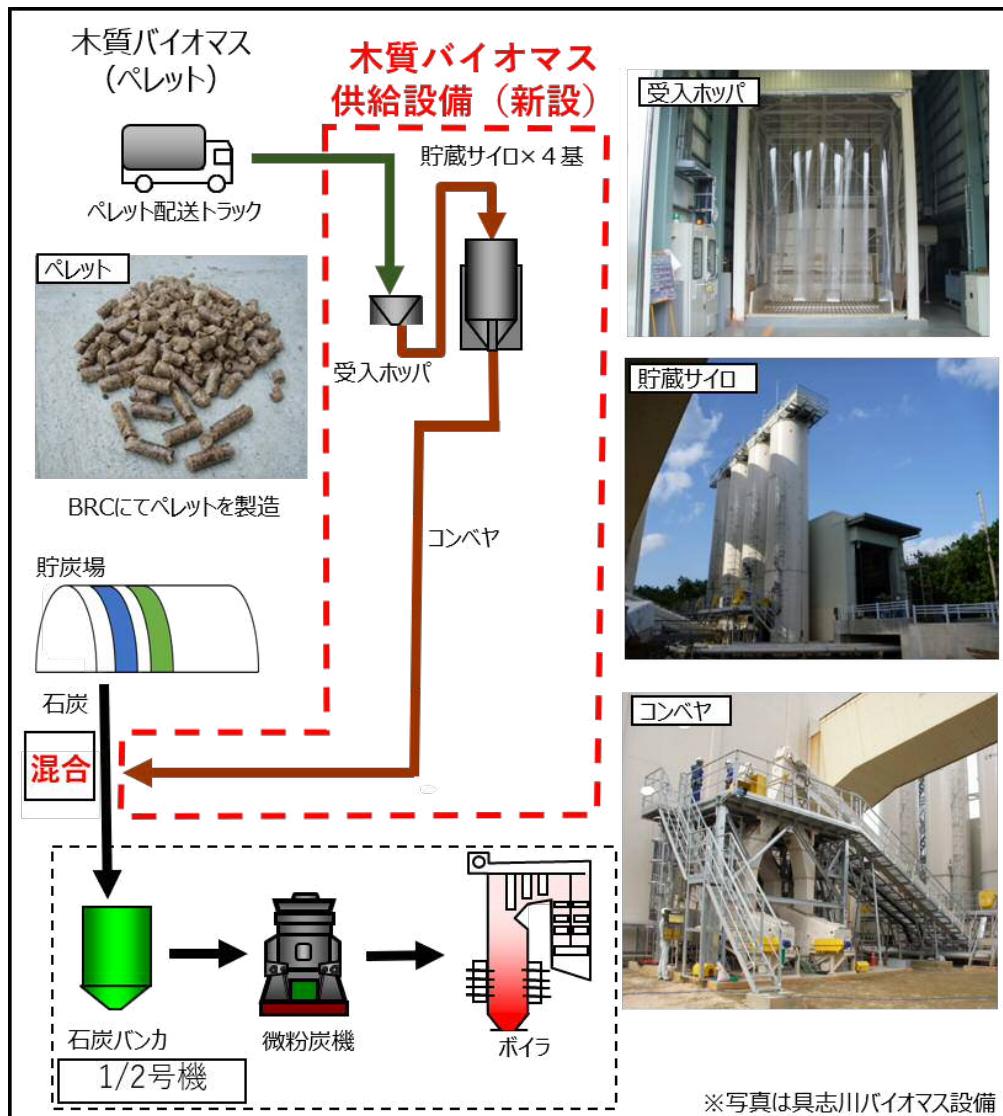
設置場所：金武火力発電所内

燃料形式：木質ペレット（原料：木質系建設廃材）

形式：サイロ貯蔵コンベア供給方式

混合方式：送炭コンベア上混合式

設備概要図



○金武火力発電所概要

所在地	発電出力（認可最大出力）	運転開始年月
沖縄県 国頭郡金武町 字金武 3333 番地	1号機：220千kW	平成14年2月
	2号機：220千kW	平成15年5月